

カロライナジャスミン

概要

和名（科名）	カロライナジャスミン（マチン科）
別名	ゲルセミウム、イエロージャスミン、イブニングトランペット、トランペットフラワー、カロリナソケイ、ニセジャスミン
英名	Carolina jasmine, false jasmine, evening trumpet flower
特徴	常緑つる性多年草。花期は春、小型でラッパ状の黄色い花を多数咲かせ、芳香がある。葉は対生で、光沢のある倒卵型で厚く、濃緑色で5cmほどになる。 観賞用やフェンスに絡ませ生垣などに利用される。花には芳香もあり、名前からジャスミンを連想させ、お茶にして誤飲する事故が報告されている。一般的な和名はカロライナジャスミンであるが、別名にあげた名前での検索が可能で流通販売されている。
有毒成分	アルカロイド（ゲルセミシン、ゲルセミン、センペルビン）
分布	米国南東部～グアテマラ

毒性

部位	全草
毒性	有毒
食用の可否	×

(写真)



カロライナジャスミンの花



カロライナジャスミンの葉表
左：通常、右：やや紅葉



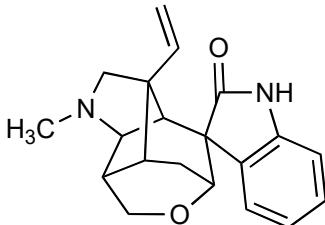
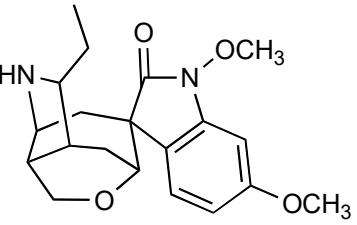
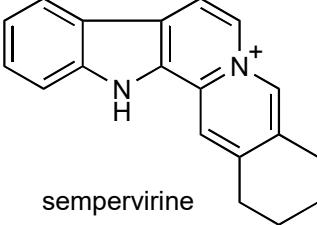
カロライナジャスミンの葉裏
左：通常、右：やや紅葉

詳細

1 特徴

一般名	カロライナジャスミン (別名: ゲルセミウム、イエロージャスミン、イブニングトランペット、トランペットフラワー、カロリナソケイ、ニセジャスミン)
英名	Carolina jasmine, false jasmine, evening trumpet flower
学名	<i>Gelsemium sempervirens</i> (L.) Ait.f.
分類	リンドウ目 Gentianales、マチン科 Loganiaceae、ゲルセミウム属 <i>Gelsemium</i> (APG 分類体系ではリンドウ目、ゲルセミウム科、ゲルセミウム属)
生育地	南米南東部～グアテマラ共和国に分布する。日本では園芸用で、鉢植えやフェンスに絡ませて栽培されている。耐寒性が強く、関東以西では庭木として植栽可能。
形態	常緑蔓生灌木。蔓は6m、葉は対生で、光沢のある長披針形。暗緑色で長さ5～10cm、幅2～3cmで波状縁をもつ。寒くなると、葉は紅葉する。花は筒状、先端5裂平開で、径1～3cm、暗黄色をつけ芳香がある。4～5月に開花。八重咲きのものもみられる。
	
	カロライナジャスミンの花
	
	カロライナジャスミンの葉表 左: 通常、右: やや紅葉
	
	カロライナジャスミンの葉裏 左: 通常、右: やや紅葉

2 毒性成分情報

毒性成分	<p>ゲルセミン gelsemine、ゲルセミシン gelsemicine、センペルビリン sempervirineなどのインドールアルカロイド。</p> <p><i>Gelsemium alkaloid</i> の毒性は、中枢神経に作用し、特に呼吸中枢に対する直接作用であって、迷走神経には作用しない。また、心臓の機能に影響を与えることもない。末梢血管への作用も認められない。</p>
	 <p>gelsemine</p>  <p>gelsemicine</p>  <p>sempervirine</p>
中毒症状	脈拍増加、呼吸麻痺、中枢神経刺激作用、血圧降下、心機能障害など
発生事例	(症例) 2006年5月11日に群馬県前橋市で、家庭で観賞用に栽培していたカロライナジャスミンをジャスミン(モクセイ科ソケイ属 <i>Jasminum</i>)の仲間だと誤認し、花をお茶にして飲んだ2名が同一症状を呈した。
予防対策	有毒植物には、飲食される植物の名前をつけない配慮が必要。別名のゲルセミウムやトランペットフラワーの名前を使う。

3 その他の参考になる情報

その他の参考になる情報	同じ <i>Gelsemium</i> 属植物である <i>G. elegans</i> (G.Gaedn. et Champ.) Benth. 「治葛(やかつ)」にはカロライナジャスミンと同様に <i>Gelsemium alkaloid</i> が含まれる。 医薬品情報 21 (http://www.drugsinfo.jp/2007/08)
間違えやすい植物	カロライナジャスミンの名前から、モクセイ科のジャスミンと間違えやすい。